



OKINAWA INTERNATIONAL SCHOOL

オキナワインターナショナルスクール®

保育部

幼稚部

初等部

中等部

高等部



IB CONTINUUM
CONTINUUM DE L'IB
CONTINUO DEL IB

国際バカロレア認定校



世界基準の知識・語学力・道徳心。 国際社会から広く求められる人材を育てる 沖縄初・唯一の【国際バカロレア一貫教育校】

Okinawa's First and Only International Baccalaureate Continuum School
Standing for education that produces world-class knowledge, language skills and morality to enable and empower globally active learners.

Be a Seeker of Truth!

『真理の探究者』となれ



Philosophy

Okinawa International School の理念

全ての学習者が「真理の探究者」と成るべく、教育という視点で民族・国籍・言語・宗教・政治の違いを超えて、お互いを理解し、尊重し、交流を図りながら学習者自ら課題を見出し、考え、行動し、社会へより良い変革をもたらすことを志高く掲げるグローバルエリートを育てます。

Mission

Okinawa International School の使命

私達の教育は「人権と平和」、「自然環境との共生」、「多文化理解」の3つを基軸とした探究教育を力強く推進するために、「地域から国際社会を理解する力」、「コミュニケーション力」、「論理的思考」、「数理的分析力」、「ICT・AIスキル」、「批判的・創造的思考」、「高度な倫理観」を各教科間で連携する教育カリキュラムを提供します。

21世紀のグローバル社会は、異なる民族や文化に属する人たちが、お互いのアイデンティティを自覚し、寛容の精神や相互理解を育む時代です。

OKINAWA INTERNATIONAL SCHOOL(OIS)は、2011年に国際バカロレア(IB) プライマリー・イヤーズ・プログラム(PYP)の認定校となり、2016年にはミドル・イヤーズ・プログラム(MYP)、そして2020年にはディプロマ・プログラム(DP)の認定を受け、沖縄初・唯一の「国際バカロレア一貫校」となりました。世界的に認められている国際バカロレアプログラムを幼稚部から高等部まで一貫することで、高度な学習環境を整えております。高等部では国際バカロレアコース(IB)に加えて、国際リベラルアーツコース(ILA)を設置し、生徒一人ひとりの進路の選択肢を大きく広げています。

OISでは、「人権と平和」「自然環境との共生」「多文化理解」の3つを基軸とした探究教育を通じて、園児・児童・生徒たちが異文化を理解し、多様な背景を持つ人々と協働しながら、自国の文化を自らの言葉で語り、世界や他者に貢献できる真の国際教養人に成長できるよう支援しています。

ここOISでしか得られない学びが、皆さんを待っています！

Principal Shogo Okuma 校長 奥間 政吾



人・心・自然 そして健康と長寿の島 〈ブルーゾーン・沖縄〉をグローバル教育の舞台に

A High Standard Global Education in Okinawa
The islands and its people are known for good health, longevity, beauty in nature, world renowned Blue zone Oceans, and mindfulness.



世界中で活躍する「国際教養人」を育てるために なくてはならない環境——それが「沖縄」です

沖縄にあるもの、それは
人の心の豊かさ
平和を尊ぶ概念
自然とのゆたかな共生
歴史・文化の継承と誇り
異文化・多様性への敬意
グローバルな人材教育の歴史

Okinawa embodies...
•Open-mindedness
•Honor universal peace
•Preservation of nature
•A unique heritage, History and culture
•Reverence for multicultural diversity
•A history of international relations

「ブルーゾーン」とは？

健康で長寿な人々が数多く居住する地域の総称です。この概念はベルギーの人口学者／ミシェル・プーランとイタリアの医師／ジャンニ・ベスが、長寿が多いイタリア・サルデーニャ島のバルバギア地方の地図上に「青色マーカー」で印をつけたことに由来します。

- イタリア・サルデーニャ
- 日本・沖縄
- アメリカ・カリフォルニア州・ロマリダ
- コスタリカ・ニコヤ半島
- ギリシャ・イカリア島

School History スクールの歴史

| | | | |
|----------|--|-----------|---|
| 2003年 4月 | 那覇市で初めて、英語環境での幼児保育を目的とした「オキナワインターナショナルスクール」を設立 | 2016年 1月 | 第1回コミュニティプロジェクト(中等部3年生) |
| 2005年 8月 | 児童・生徒数の増加と初等部開校のため校舎を那覇市楚辺へ移転 | 4月 | 制服をリニューアル |
| 9月 | 1歳児クラス 開講 | 7月 | 中等部が「国際バカロレア ミドル・イヤーズ・プログラム(MYP)認定校」となる |
| 2006年 4月 | 初等部を新設 | 2017年 10月 | 初等部5年生・6年生と中等部1年生～3年生がベトナムへ修学旅行 |
| 2008年 5月 | 国際バカロレア プライマリー・イヤーズ・プログラム(PYP)の候補校となる | 2018年 1月 | 台湾の苗栗縣後龍鎮新港國民中小學(Xin-Gang Elementary and Junior High School)と姉妹校となる |
| 2011年 7月 | 沖縄で初めて、日本でも20校目の「国際バカロレア プライマリー・イヤーズ・プログラム(PYP)認定校」となる | 5月 | 「沖縄国際学院 高等専修学校(2020年4月開校)」が国際バカロレア ディプロマ・プログラム(DP)の候補校となる |
| 2012年 2月 | 第1回エキシビション(初等部6年生) | 2019年 7月 | 南城市の新キャンパスへ移転 |
| 3月 | 初等部／第一期生 卒業 | 2020年 4月 | 学校法人 PSTアカデミー 設立 |
| 4月 | 初等部・高学年および中等部のための別館スクールを那覇市壺川に開設 中等部／第一期生 入学 | 4月 | 「沖縄国際学院 高等専修学校」開校 |
| 2014年 1月 | 中等部が国際バカロレア ミドル・イヤーズ・プログラム(MYP)の候補校となる | 12月 | 国際バカロレア ディプロマ・プログラム(DP)の認定校となる |
| 2015年 3月 | 中等部／第一期生 卒業 | 2021年 10月 | 文部科学省より大学入学資格付与校の認定を受ける |
| | | 2023年 2月 | 高等部 1期生卒業／1期生全員 国内・海外 大学合格 |
| | | 2024年 2月 | 高等部 2期生卒業／2期生全員 国内・海外 大学合格 |
| | | 2025年 3月 | 高等部 3期生卒業／3期生全員 国内・海外 大学合格 |

【保育部・幼稚部・初等部・中等部・高等部】 沖縄初・唯一の国際バカロレア一貫教育



〈HOLD ON TO YOUR DREAM AND CLIMB FOR IT.〉～夢を持って!そこをめざし登り続けなさい～



School Logo Message ～ロゴマークに込める想い～

外を囲む青い円は、沖縄の「O」、Oceanの「O」を模しています。未来へ羽ばたく鳥の足とまっすぐな瞳を「I」で表現します。そして「S」のイメージで鳥の姿を描きます。青い円の外側まで突き出すくちばしには、沖縄を飛び出して日本へ、世界各地へ飛躍していく将来像を。王冠には、常にトップに挑んでいく勇ましい決意の心を込めています。



学校法人 PST アカデミー ～校名とシンボルマークの由来～

空に羽ばたく鳳凰の姿を「PSTA」の文字で象ったシンボルマークです。2色の羽は、赤い羽根で沖縄の太陽のように熱い情熱を、青い羽根で沖縄の海のように広く冷静な思考力を表しています。また3つの尾羽には、平和、自然環境、そして沖縄の独特な歴史・文化への想いを込めています。これらを理解し、行動することのできる人材育成に取り組むPSTA(OIS)の理念と哲学を具現化しています。

OIS has its own unique learning environment OISが持つ独自の学習環境

Enhancement of Facilitator Role 【Facilitatorの充実】

励まし、我慢強く育てる。初めての英語環境で学ぶ児童生徒にとって「楽しく学ぶ」ことは簡単なことではありません。児童生徒が自ら「できる!」という自信が持てるまで、教師が我慢強く励まし続けながら、生徒一人ひとりに伴走します。



Enhanced Out-of-School Learning 【校外学習の充実】

OISの教育の目的は、将来社会にイノベーションを起こせる人材の育成です。そのためには現社会の成り立ちを座学とともに学ぶことも大切です。初等部ではテーマごとに、中等部ではプロジェクトごとに、社会探究やキャリアガイダンスを行っています。



An environment with significant multinational faculty

【重要な多国籍教諭の環境】

グローバル社会は多様性に満ちています。これから、そのような社会で活躍していく児童や生徒は、多国籍の教師のもとで学ぶことが大切な意義を持ちます。世界各国からOISに集うユニークな講師陣とともに、グローバルマインド、クリティカル・シンキング、論理的思考などの成長を促していく環境が整っています。



IB Continuum School

OISの理念を達成するために「最高水準の国際教育」を導入

国際バカロレア 認定校

- ◆Primary Years Programme
- ◆Middle Years Programme
- ◆Diploma Programme

In 2006, OIS made the decision to embrace International Baccalaureate (IB) education

2006年 OISは国際バカロレア教育に挑むことを決断

その背景には、IBの理念とOISの理念の合致がありました。国際人の育成に必要な全人教育を前提に、「ローカルからグローバルへ」、「母語+他言語力の成長」、「教科書やテスト中心の教育から生徒が自ら探究する教育へ」というIBのカリキュラムに、大いなる共感と可能性を見出しました。

Becoming a committed global citizen

真の国際人となるための学び

国際バカロレアプログラム(IB)の特徴は、横断的な教育内容にあります。教科書偏重、教師中心、成績優先の教育ではなく、科目や学年が相互に連携しながら、自己、社会、国、世界の成り立ちなどを学んでいきます。こうした環境の中で、子どもたちは物事を深く探究し、多角的に考えていくようになります。自分で考えて行動することの意義が授業に組み込まれています。生徒たちには、自分が学んでいることがテストや受験のためだけでなく、世界と交流していく「真の国際人となるための学び」であることを理解させる指導をしています。

Applying global standards to empower students in Okinawa

沖縄で世界基準の全人教育を

IBのカリキュラムは、知的発達や人格的成長、情緒や社会性の発達に力を入れると同時に、「言語」「人文科学」「理科」「算数・数学」「美術」の各教科の学習にも取り組んでいます。すべての児童・生徒が、思考力や表現力、倫理観、研究性、異文化への理解と寛容性を育み、偏見のない心を養います。豊かな人間性と国際通念を持つ「真のグローバルエリート」を沖縄から。私たちは、国際バカロレア認定校として、沖縄の地で世界トップレベルの教育が受けられる環境を提供し続けます。

IB Learner Profile IBプログラムの学習者像



IB Programs IBプログラム 3つの教育課程

DP
【ディプロマプログラム】
Diploma Programme

DPとはIB(国際バカロレア)のディプロマ・プログラム(17歳・18歳)。通常日本における高校2年・3年次に実施する。

MYP
【ミドル・イヤーズプログラム】
Middle Years Programme

MYPとはIB(国際バカロレア)のミドル・イヤーズ・プログラム(11歳～16歳)。日本における小学6年生より開始し、中学の3年間を経て、高校1年生までの5年間で実施する。

PYP
【プライマリー・イヤーズプログラム】
Primary Years Programme

PYPとはIB(国際バカロレア)のプライマリー・イヤーズ・プログラム(3歳～11歳)。3歳児～5年生までの間に、6つのテーマをもとに探究学習していく。

Preschool

Cygnets
2歳児



Preschool Programme 保育プログラム

お母さん、お父さんの温かい腕の中から スクールという初めての小さな社会へ

乳幼児期は、人格の基礎が形成される大切なときです。保育部では、この時期の成長過程を見守りながら、食事や着がえ、トイレなどが少しずつ自分の力でできるようになる「自立心の芽生え」をサポートします。

Parenting Support

OISの保育部は、お子さまへのグローバル保育だけでなく、保護者の想いに寄り添い、子どもの成長の喜びを共有しながら、楽しく子育てしているように支援します。



Weekly Program

2歳児の認識力や社会性を高め、からだ・手先の運動能力を発達させるアクティビティです。

- アルファベット
- 調べあそび
- たいいくあそび
- かずやゲーム
- アート
- 戸外活動(校外学習)
- 歌やゲーム
- にほんご
- 感覚あそび
- 実践あそび

Activity Time

英語との出会いは 「楽しいあそび」

発育に大切な「感情」について、「Happy」「Angry」「Sad」「Sick」などの気持ちを、日常のアクティビティから英語で自然に認識していきます。



どんな色かな？ 「植物のまなび」

花びらや根っこ、葉っぱ。いろいろな名前を知りながら、さあ！ぬり絵遊び。思い思いの色づかいで塗っていく中で、考える力、創り出す楽しさを学びます。



「遊び」から学ぶ 認識力・創造力・協調性

2歳は「自我の目覚め」が始まる時期。「一人で」やりたがり、Yes・Noもはっきりしてきます。そんな「あたまと心の変化」を軸に、「なぜ?」「どうして?」という好奇心を大切にします。できたときは、ほめて一緒に喜び、困ったときは励まして、「小さな自信」をプレゼントします。「遊びが主体」の保育クラスを経て、3歳児から始まる「国際バカロレア教育」へ移行していきます。

保育部から幼稚部への進級

2歳児クラス
Preschool Programme
保育プログラム

3歳・4歳・5歳児クラス
PYP
国際バカロレア
プライマリー・イヤーズ・プログラム

Kindergarten



Owlet
3歳児

Eaglet 1
4歳児

Eaglet 2
5歳児

PYP [Primary Years Programme] 国際バカロレア プライマリー・イヤーズ・プログラム



「国際バカロレア プライマリー・イヤーズ・プログラム」のクラス活動で、楽しんで身につく英語力、思いやりの心、自分で考えて答えを出す創造力や表現力を育てます。



Owlet 3歳児

英語を身につける第一歩

「コミュニケーション能力」の発達をテーマに、レッスンや自由あそびで自然に英語を使い始めます。英語や日本語を話して、聴いて「変化と成長」をうながします。

【こんなことができるように】

- 言語** ● 物語や歌への反応
● 小文字の認識
- 算数** ● 数字の理解や読み書き(1~10)
- 探究活動** ● 生き物について考える
● 感情について考える
- 身体運動** ● 様々な動きにチャレンジ

Weekly Program

- 探究活動
- 基礎英語
- たいいく
- さんすう
- にほんご
- ファンDay
- 戸外活動(校外学習)

Activity Time English

かわいい映像を見ながら、英単語が持ついろいろな意味を考えます。朝の会の童謡で発音してみたり、文字の違いを考えながら英語と日本語を一体的に学びます。

遊び感覚で
2つの言語を
たのしく学ぶ



Eaglet 1 4歳児

思いやりと助け合いの心

お友だちと分かち合う場面の多い遊びや活動を通じて「チームワークの大切さ」に気づかせ、思いやりの心・協調性など将来に役立つ社会性を養います。同時に一人ひとりの創造力も育てます。

【こんなことができるように】

- 言語** ● 文字や単語の読み書き
● 文章での会話
- 算数** ● 時計を一時間ごとに読める力(1~20までの数)
- 探究活動** ● 家族について考える
● 絶滅危惧種について考える
- 身体運動** ● 自分のイメージ通りに体を動かす

Weekly Program

- 探究活動
- 基礎英語
- たいいく
- さんすう
- にほんご
- ファンDay
- 空手
- 戸外活動(校外学習)

Activity Time UOI

探究活動(UOI)では、絶滅危惧種や自然災害(地球温暖化)、家族や物語などについて考えます。絶滅危惧種についての活動は、動物を見る施設などを実際に訪ねて、動物についての興味深い事実や、なぜ絶滅の危機にある動物がいるのか?などを調査し、絵に描いて発表します。

伝えたいこと
考えたことを
わがちあう



Eaglet 2 5歳児

自分で考えて答えをだす

好奇心と意欲を刺激するカリキュラムで、「考えながら解決できる力」を育てます。英語・日本語による創造的な活動で、言葉や感情を豊かに表現する能力も育てます。

【こんなことができるように】

- 言語** ● 英単語3つを使って気持ちを表現
● ひらがな・カタカナの読み書き
- 算数** ● 数の認識(1-50までの数)
● 時計の読み方(5分ごと)
● グラフ作り
- 探究活動** ● 地域社会について考える
● 資源・環境保護を考える
- 身体運動** ● 社会性を育みながらグループゲーム

Weekly Program

- 探究活動・自己活動
- 基礎英語
- たいいく
- さんすう
- にほんご
- 空手
- ファンDay
- 戸外活動(校外学習)

Activity Time Math

楽しい映像を見ながら、英語で10ずつ数えるチャレンジ! 習ったことを話し合ったり、おともだちの話を聞いたり、グループをつかってプレゼンテーションすることで、発表することへの自信につなげていきます。

見て・ふれて
考えながら
センスを磨く



WELCOME! OIS

What? Why? How?

Let's find out together! いっしょに調べてみよう!

お子さまの成長の様子をお伝えします

KidsDiary

キッズダイアリーは、スクールと保護者をつなぐコミュニケーションアプリです。お子さまの日々のクラス活動の様子を写真とコメントでお伝えします。

個人情報もしっかり保護

しっかり
まなぶ

Team Teaching

サポート指導体制

各クラスの活動内容に合わせ、必要に応じてもう1人の先生がサポートするスタイルで指導しています。

げんきに
あそぶ

Outdoor Day

園庭で園外で

安全に配慮した園庭で元気いっぱい走り回ったり、週に一回バスに乗って、園外のいろいろな場所へお出かけしたり。楽しみながら五感を発達させます。

ママも
あしん

School Buses

広域をカバー

県内広域、ご自宅の近くまで送迎します。運行状況はキッズダイアリー内の機能も活用。毎日の安全・安心な通園をお手伝いします。

たくさんの
愛情表現

Small Classes

みんな仲良し

少人数クラスが、子どもたちとの距離をグッと近づけながら、細やかで温かいスキンシップを形にします。

からだ
げんきに

4,5 years old

Karate Class

みんなで挑戦

4歳児・5歳児には週に1回、空手のレッスンを取り入れて、礼儀の大切さや万人への優しさ、沖縄文化を誇る心を育みます。

うけつぐ
ところ

Local & Global

自己の発達

国際教育のみならず、母国(日本・沖縄)のアイデンティティも大切に学び知ること、世界へ通じる寛容な心を養います。

しっかり
サポート

Counseling

ご相談ください

カウンセリング講師が月2回ほど来園。専門的な見地からお子さまや保護者、時として教師の相談にも幅広く応じる体制を整えています。

ちしきを
ふかめる

From 3 years old

Class Activities

自分で考えて答えを出せる子に

子どもたちが多くの知識を身につけていくには、読書が欠かせません。3歳児以上のクラスでは、毎週1回「ライブラリー・ビジットデー(図書館デー)」と称した「本と触れあう楽しい機会」をつくっています。

Math

English

Japanese

Physical Education

チーム
ワーク

PTA "NEST"

保護者会

NEST(鳥の巣)と称する保護者会で、園児たちに寄り添う活動を推進。絵本の読み聞かせ、保護者主催のイベントを行います。

ib Primary Years Programme

幼稚部から始まる プライマリー・イヤーズ・プログラムの特徴

Student Center 子どもが主役

IBが始まる幼稚部は、基礎を築き上げる大切な時期。「こう学びたい!」「こう活動したい!」そんな子どもの主体性を尊重して、自分の意見や考えが出るように導きます。難しい単元も楽しくわかりやすいアクティビティを実践します。



5つのカギ 知識・スキル・理解・気質・行動の5つの要素をバランスよく育成。

探究型学習 複数の教科を横断して「自分の力でしらべる」探究能力を開発。



英語イマージョン環境

3歳・4歳・5歳の大切な3年間。クラス活動の様々なプログラムや、あそび、日常生活の中に「英語で過ごす時間」がたくさんあります。

上級生との交流

上級生と関わる場面を増やすことで、身近な憧れや真似してみたい姿など、子どもたちの「もっと良くなる」という向上心を伸ばします。



School Days

| | |
|-----------|---------------|
| 登園 | 7:30 ~ 9:00 |
| サークルタイム | 9:15 ~ |
| トイレ・水分補給 | |
| レッスンタイム | 10:00 ~ |
| 自由遊び&昼食準備 | |
| ランチタイム | 11:15 ~ |
| 自由遊び | |
| レッスンタイム | 13:15 ~ |
| 帰宅準備・降園 | 14:00 ~ 15:00 |
| 延長保育 ※ご相談 | 15:00 ~ 18:30 |

放課後クラブ
スイミングやスポーツクラブなど
※ご希望されるお子様はご相談ください

School Calendar

| | |
|------|-------------------------------------|
| Apr. | ●入園式 ●親子レク |
| May | ●授業参観 ●保護者面談 ●スポーツデー |
| Aug. | ●夏休み (サマープログラムあり) |
| Oct. | ●ハロウィン ●保護者面談(保育部) ●三者面談(幼稚部) |
| Nov. | ●がくげい会 |
| Dec. | ●クリスマスパーティー |
| Jan. | ●新春祝い ●授業参観 |
| Feb. | ●保護者面談(保育部) ●SLC学習成果発表会(幼稚部) |
| Mar. | ●卒園式 ●修了式 |

園内の施設環境

ジム(多目的ホール)

体育クラスやセレモニーに

ラーニングコーナー

自主性を育みます

面談スペース
大切な話し合いの場に

屋上園庭
安全で楽しい遊び場

図書室

向学心にこたえます

安全管理体制

お子さまの安全を守るため、通園バスには常にアシスタントが添乗。不慮の事故などを起こさない万全な体制を整えて運行しています。

英語の書籍も充実する図書室。探究学習(UOI)の中で、なんでもすぐにリサーチできる環境を整えています。週に一度の図書館デーには、園児たちが目を輝かせながら本を選びます。常に本と親しむ習慣づくりを大切に考える取り組みです。

衛生環境

いつも健康に清潔に



JAPEC 児童英検

OISでは、「聞く力」と「話す力」を総合的に正しく評価する英語テストへの取り組みにも力を入れています。4歳児・5歳児が対象。年に2回の実施で2024年度は全員合格しました。



「OISを選んでよかった」保護者のみなさまからいただいたお言葉

5歳児のご家族より



海外から来て日本語が話せないため、早く学校生活に慣れさせたい思いからOISを選びました。言葉の壁が心配でしたが、明るい校風と、先生方の誠実さ、温かさで子供の表情が日々明るくなり、日本語も英語も上手になって驚いています。毎朝、満面の笑みで登園する我が子の姿に私たちまで幸せな気分になります。

5歳児のお母さまより



先生達がいつも笑顔で優しく、毎日楽しんで登園しています。将来、人間力を持つ人になってほしい願いからOISを選びました。入園してIBの10の学習者像を学び、思いやりのある心優しい人に成長できていると感じます。英語も単語から文章になってきました。幼少期から沖縄文化に触れる空手の授業も魅力的です。

4歳児のお母さまより



息子がいくつかの幼稚園を見学した中で、「ここがいい」と選んだのがOISでした。教育に精通していて、いつも明るくオープンな先生方から、私たち保護者も大きな安心感を得ています。IB教育については説明会で詳しく知りましたが、これからの時代を生きる子どもたちにとって非常に重要な教育だと感じています。

卒園児童の保護者さまからも「感謝のお言葉」をいただきました

このたび子どもが貴校を卒業するにあたり、心からの感謝を申し上げます。幼稚部生活を通じて、子どもは毎日楽しみながら学び、多くの成長を遂げました。特にIB教育の理念に基づく探究型の学びは、子どもの好奇心を刺激し、自ら考え、問いを立てる力を育ててくれました。先生方の温かいご指導のおかげで、子どもは安心して自分を表現し、多様な価値観に触れることができました。また、国際的な視野を持つ素地を築けたことも、大きな財産となることでしょう。次の初等部生活でも、貴校で培った学びの姿勢を活かし、成長していったほしいと願っています。

IBの教育理念に深く共感し、我が子には国際的な感性や知識、英語力を養って欲しい願いから、幼少期よりOISへ通わせてきました。少人数制の中での熱心な先生方による体験型/探究型の授業を通じて、集団性と自主性の大切さや、初等部に必要な基礎学力と思考力を身につけることができました。教育に関心の高いご家庭が多く、クラスメートから良い刺激をもらいながら親子で楽しく明るく園生活を過ごせました。学年が上がるほど難易度が増すIB教育は、早い時期から学ぶことで土台が作られ、難しい課題をクリアしていく力がつくと感じます。OISでは幼稚部から高等部まで、一貫した環境でIBを学べる点も親として大いに安心できます。



幼稚部の制服

ヨーロッパ伝統のタータンチェックに沖縄の伝統工芸・紅型のアクセント。清楚で活動的なデザインです。



4月入園・途中入園の流れ

ご入園をお考えの方、ご検討中の方は、まずレッスン風景をご見学ください(予約制)。お子さまの英語力は入園時点では問いません。本スクールの教育方針をご理解いただけることが重要です。クラスに空席がある場合は途中入園もご案内しております。ご相談ください。



保育部・幼稚部 よくあるご質問

無償化 対象施設

Q 無償化対象の幼稚園ですか？

A はい。幼稚部の園児で共働きのご家庭が対象となります。お住まいの市町村にご申請ください。

Q 保護者が英語を話せなくても大丈夫ですか？

A もちろん大丈夫です。保護者へのお知らせなどは、英語と日本語で行っております。日本人の先生もいますので、ご安心ください。

Q お弁当を持たせてもかまいませんか？

A お弁当はご自由にお持たせください。事前にご連絡をいただければ、ランチやおやつをケータリング業者から注文することもできます。乳・卵アレルギー除去食にも対応しています。

Q お昼寝やお外での遊びはありますか？

A お昼寝は14時15分～15時半で、延長保育をご利用の園児が対象となります。外遊びは、各クラスごとに毎週一度は公園などでの校外学習を実施。屋上には人工芝を敷いてクラス活動や自由遊びの安全な環境を整えています。

Q 日本語と英語への取り組み方は？

A 毎日のクラス活動は、基本的に英語で行います。お子さま一人ひとりの習熟度によって、日本語でもサポートしますのでご安心ください。

Q 共働きのため 春休みや夏休みの概要を知りたい

A 春休み・冬休みには、2日から1週間程度の預かり保育を実施します。夏休みはサマープログラムに参加することもできます。(対象年齢 3歳から6歳)

Q 延長保育の仕組みを知りたい

A 延長保育は、レギュラークラスお迎え時間の終了後、15時～18時半が対象となります。お昼寝時間は14時15分～15時半までで、その後、延長保育のグループに加わります。延長保育専属の職員が、お迎えにいらっしゃるまでお預かりします。

Q 先生や園児にはどんな国籍の方がいますか？

A 生徒の多くは日本人です。保育・幼稚部の外国人教師は、日本・アメリカ・中国・フィリピン国籍です。初等部以上になると、11国籍以上の教師が国際バカロレア教育を支えています。

Q 少人数が特長と聞きました。各クラスの定員は？

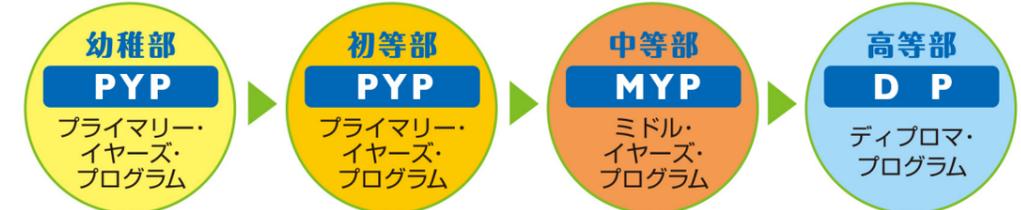
A 定員は、2歳児のクラスが12名、3歳児～5歳児クラスは各25名です。一人ひとりに目と心が行き届く体制です。

幼稚部からの進路

幼稚部から初等部・中等部・高等部まで国際バカロレア (IB) の一貫教育体制

幼稚部でたくさんの愛情を注がれながら大切に育まれてきた「可能性の芽」。初等部・中等部・高等部がある南城キャンパスには、語学力や国際教養をさらに大きく伸ばし高める意欲的な子どもたちが、元気に通っています。緊急時に即応するオンライン授業や、県下広域からのスクールバスも充実しています。

南城キャンパス





Primary Years Programme

プライマリー・イヤーズ・プログラム



Elementary School 初等部

Grade 1
1年生

Grade 2
2年生

Grade 3
3年生

Grade 4
4年生

Grade 5
5年生



Enriching students' potential through 5 years of progressive and globally-centered education

知性と国際感覚を養い「現在から未来への大きな可能性」を拓いていく5年間

OISの初等部は、国際バカロレアのプライマリー・イヤーズ・プログラムにあたります。児童は、このカリキュラムを通して物事を深く探究し、国際的視野を培い、知識が増えていくことの喜びと、学ぶことの意義・意欲を身につけていきます。また、社会の成り立ちを学習する中で、相手を尊重する気持ちを学び、信念を持って自分の意見をまわりに伝える力を身につけます。さらに、探究してきたテーマを振り返って検証することによって、学びの質をさらに高め、自分の力で問題を解決していく行動力も養います。知識や感性のグローバルな成長を通じて、児童の現在から未来に大きな可能性を拓きます。

A modern style of education based on a transdisciplinary approach to explore topics and contents

1つのテーマを複数の教科で探究学習

PYPを学びの軸に、児童が探究のプロセスや方法を楽しみながら身につけていけるよう、教員はサポートしていきます。児童は固定観念にとらわれずに本質を捉え、問題について深く多角的に見る力を培います。学ぶことに前向きなIB学習者として、知識、身体、感性の全人教育を実践します。

A curriculum that integrates and values the Okinawan culture and identity

「沖縄」のアイデンティティも大切に

感受性豊かな小学生の時期に、「沖縄のアイデンティティ」という、もう一つの大切な学びも。「沖縄」が舞台の国際バカロレア校として、郷土の生活・文化・歴史などを学ぶ「しまくとぅば」と「空手」のクラスを開設しています。IB学習者の使命である「平和な世界を築くこと」にも通じる独自の指導方針です。

Future studies after Elementary Education

初等部からの進路

IB continuum education ~国際バカロレア (IB) の一貫教育~
「国際バカロレアの一貫教育」を求めて、多くの在校生が「OISの中等部」へと進んでいきます。

OKINAWA INTERNATIONAL SCHOOL

初等部 Elementary

PYP 国際バカロレア
プライマリー・イヤーズ・プログラム

OKINAWA INTERNATIONAL SCHOOL

中等部 Middle School

MYP 国際バカロレア
ミドル・イヤーズ・プログラム

IB学習者として、新たな探究課題へ。知識・技能・人間性を進化させます。

「進路相談デスク」が万全にサポート

OIS中等部への進学や、公立小学校からの転入学など、あらゆる進路相談にお答えします。



Resonate with children's senses

The enjoyment of learning, the ability to think, and the expansion of knowledge

児童の五感に響かせる 学びの楽しさ・考える力・知識の広まり

カリキュラム Pick Up

UOI 探究型授業

多様なカリキュラムで、他に類を見ない教育を実践しています。UOI (Unit Of Inquiry) とは、IBカリキュラムの中核をなすもので、児童たちが人生で優れた能力を発揮するために必要な、知識・スキル・概念・行動などの必要要素を学んでいきます。単なる知識や暗記を目的とせず、横断的な探究プログラムで、幅広くバランスの取れた概念的な学習体験を提供します。



児童は最初のうちは不安や緊張に包まれますが、日が経つにつれて力をつけ始め、スキルや自信を深めて挑戦を楽しむ姿に変わっていきます。

カリキュラム Pick Up

English 英語

言語能力の成長は、単独で教えられるものではありません。探究クラスと関連させて英語のクラスでは、「読む」「聞く」「書く」「話す」「見る」「発表する」などのコアスキルを中心に指導します。児童は習得した英語能力を、世界と交流するためのスキルとしてユニークに活用し始めるのです。



児童は初めのうちは英語でのコミュニケーションに戸惑いを感じます。しかし成長するにつれ、自由に自信を持って自分の意見を述べられるようになります。

カリキュラム Pick Up

Math 算数



児童は算数を学ぶことに意欲的で好奇心旺盛です。常に共同作業で協力し合って探究し、理解と応用を深めながら能力を積み重ねていきます。

算数の授業は「探究クラス」に基づく横断的な学習です。授業には探究型とプロジェクト型の両方を取り入れ、常に複数の視点から考え、算数の知識や理解を実生活と結びつけていきます。このカリキュラムを通じて、児童は探究心や思慮深さ、豊富な知識、ふり返る力、バランス感覚、思いやり、心の広さ、挑戦する姿勢などを一歩ずつ身につけていきます。

カリキュラム Pick Up

Life Technology ライフテック



児童たちは次第に、iPadを自己表現のツールに使用したいと意識しはじめます。自分が持つスキルを存分に発揮し、挑戦し続ける人へ成長します。

Life TechクラスではICT学習を推進しています。児童個々にiPadを配付し、低学年ではその基礎的な使い方からビジュアルプログラミング、アプリを使ったポスター作りなどを行っています。中高学年では、編集アプリを使った動画作成や、プレゼンテーションに使うスライドの使い方などを自由に触りながら学習。PYPの最終学年で行うエキシビションでも大きな成果を発揮します。

カリキュラム Pick Up

Japanese 日本語

日本語のクラスでは、教科書の枠を超えてUOI(探究学習)のテーマに沿った文学作品や説明文などを取り入れています。ペアワークやグループワークなど、児童の興味を刺激し続けるスタイルで、インターネットで検索したり、活発にコミュニケーションしながら学習を進めます。将来、MYPやDPで求められる「文学作品を読み解ける力」の育成にもつなげます。

初めは授業やスクールの中だけに留まっていた学習が、やがて帰宅後や休日の自主的探究に発展。互いに刺激し合って学ぶ姿に変化します。



カリキュラム Pick Up

Physical Education 体育

体育では1年間を通して5つのユニットを行います。探究学習とも関連させ、友達と協働することで実技だけでなく、チームワークや社会性も養います。iPadで技や演技を撮影し、「どうすればよいのか?」を客観的に考え出す場面も大切にしています。授業を通じて、目的のために自分は今の段階にいて、どうすれば次に進んでいけるのか?を考え、行動していける「Risk-taker」を育てます。



児童たちはiPadでスローモーション撮影をして、膝の角度や姿勢などを教え合う練習方法を自主的に開発。「挑戦」する心・技・体を成長させています。

Student's Voice

<Grade 1 児童>

いちばんの楽しいクラスは、Mathです。たくさんけいさんしたりするからです。スクールでは、ぬりえをするのがたのしいです。おきくなったら、かしゅになりたいので、たくさんうたをうたってれんしゅうしています。

<Grade 2 児童>

じゅぎょうで、いちばんの楽しいのはLife Technologyです。iPadをつかって、プログラミングをまなびながら、たのしいことができるからです。大きくなったらスイミングのせん生になりたいです。そのために、まいにち水えいをがんばっています。

Travel the world with an understanding of international culture using Japanese and English languages

日・英の言語を使って 世界に羽ばたく国際教養の旅へ

English Competency 本物の英語力を育成

ただ単に聴いて話せる英語ではなく、英語を自在に使いこなしながら、自分の意見を伝えたり、討論をしたり、思うままに記述できる能力を完成させます。



- 習得目標**
- ◆英検…5年生までに準2級レベル以上
 - ◆TOEFL Junior…スコア745以上

Intensive Japanese Instruction 日本語での指導も万全に

多くの児童の第一言語である日本語をしっかりと学習。理科、社会などの国際バカロレアの探究型授業には、「英語」を取り入れながら語学力を高めさせ、日本語も活用していく授業を進めています。



Utilizing Advanced ICT ICT環境を授業に活用

より高い学習効果や、授業の効率化、情報社会に即応するIT技能の向上をめざして、英語や日本語、算数などの各教科から、国際バカロレアの探究学習まで、すべての児童が専用のタブレット端末(iPad)を活用。先進のICT環境を授業に取り入れています。



Professionally Addressing the Differences in Language Ability with Supplementary Classes

英語・日本語の習熟度を補う【言語サポートクラス】

入学直後や年次が進んでいく中で、児童の間では英語や日本語の言語力に習熟度の差が出はじめます。児童自身の不安や、保護者のご心配を解決するために、初等部では英語の授業中に行う言語サポート「在籍するクラスにサポートの先生が入る“Push in クラス”」や、「別室で集中的に学ぶ“Pull out クラス”」、日本語ではJFLクラスを併設して、基礎語学をしっかりと支援します。



PYP Exhibition 探究学習の集大成【エキシビション】

国際バカロレアプライマリー・イヤーズ・プログラムの探究学習発表会として、PYP最終学年の5年生によるエキシビションが行われます。児童がこれまでの学習で培ってきた、探究する力・まとめる力・発表する力・協働体験・知識・スキルなどのすべてを、英語で発表します。〈絶滅危惧種〉〈テクノロジー〉〈飢餓〉〈災害〉〈自然〉など、児童が自ら興味のある社会問題を選び、トピックについて発表します。



Student's Voice

〈Grade3 児童〉

Artの時間が一番好きです。OISでよかったなと思うところは、えい語をしゃべったり、チームでとりくんだりすることが多いところです。友だちとあそぶ時間がすごくたのしいです。これからIBのことをもっとふかしく知っていきたいです。

〈Grade4 児童〉

PEとArtとJapaneseのクラスが楽しいです。PEは、体をうごかせるから楽しいです。Artは、絵をかくことやデザインを自由にかくことができるから好きです。まだ日本語があまりとく意ではないのですが、そこが成長できるのがうれしいです。OISの勉強はむずかしいけど、みんながなかないし、みんないろいろなところから来てる中で、話し合っ共つう点をさがしたりするところが、心があたたかくなって安心できる場所だともおいます。

Class Schedule 初等部での一日

国際バカロレア プライマリー・イヤーズ・プログラムの探究型授業を中心に、国際バカロレアの基準に沿った教科学習を進めます。学習内容が多岐に渡るため、一般の小学校より多めの授業時間数となります。

Grade 2 Class Schedule 2年生クラスの時間割モデル

| Time | Period # | Mon | Tue | Wed | Thu | Fri | |
|-------------|------------------|--------------------------|----------------------|--------------------------------|------------------------|------------------------------|--|
| 8:30 | | Homeroom ホームルーム | | | | | |
| 8:35 | Morning activity | Circle Time サークルタイム | READ aloud 音読 | READ aloud 音読 | READ aloud 音読 | READ aloud 音読 | |
| 8:55~9:40 | #1 | UOI / English 英語 | UOI / Math 算数 | UOI / Math 算数 | UOI / Math 算数 | UOI 探究型授業 | |
| 9:45~10:30 | #2 | UOI / English 英語 | UOI / Math 算数 | UOI / English 英語 | UOI / English 英語 | UOI 探究型授業 | |
| 10:30~10:40 | | Recess 休憩 | | | | | |
| 10:40~11:25 | #3 | UOI 探究型授業 | UOI 探究型授業 | UOI/Japanese JFL 日本語 | UOI/Japanese JFL 日本語 | UOI / English 英語 | |
| 11:30~12:15 | #4 | UOI 探究型授業 | UOI 探究型授業 | UOI/Japanese JFL 日本語 | UOI / Life Tech ライフテック | UOI / English 英語 | |
| 12:15~13:10 | | Lunch 昼食 / Free time 昼休み | | | | | |
| 13:10~13:55 | #5 | P E 体育 | UOI/Japanese JFL 日本語 | Music 音楽 | UOI / Art 図工 | Independent Inquiry 自主探究 | |
| 14:00~14:45 | #6 | P E 体育 | UOI/Japanese JFL 日本語 | UOI / Media Literacy メディアリテラシー | UOI / Art 図工 | PSE/Shimakutaba /Karate 道徳など | |
| 14:45~15:15 | | Cleaning 清掃 | | | | | |

■ 英語で行われる授業 ■ 日本語で行われる授業 ■ 英語もしくは日本語で行われる授業

Q1. 宿題はどのくらいありますか？

A. 各学年によって異なりますが、児童の様子や探究内容によって、週3回~毎日あります。宿題の内容もそれぞれ教科によって異なりますが、保護者にインタビューする、前もって授業に関する動画を見ておく、ワークシートの問題などがあります。頑張っても解けない場合は無理をせず、スクールへ持たせてください。先生がサポートします。

Q2. どのようなテストや試験がありますか？

A. 英語力を測る試験として、TOEFL Primary/Junior、日本語では漢字検定を取り入れています(2025年度現在)。その他、UOI(探究クラス)の各単元でプレゼンテーションなどの課題があります。

Q3. 家庭ではどのようなサポートをすれば良いですか？

A. まずは毎日10分でも英語の本を音読するなど、家庭で少しでも英語の環境を作ることです。また、スクール内では日本語に触れる時間が少ないので、日本語を第一言語とするご家庭では、日本語の本を読む環境、漢字の練習などのサポートをお願いしています。

Q4. 放課後はどのように過ごしていますか？

A. 放課後は、お迎えが来るまでの時間やスクールバスの出発時間まで、宿題をしたり、図書室で本を読んだり、お友達と卓球やボードゲームなどをして過ごしています。また、外部指導者が、ベリーダンスや空手、英語クラス、プログラミング、デジタルアートなどのクラブ活動を提供しています。(※クラブ活動は別料金となります)

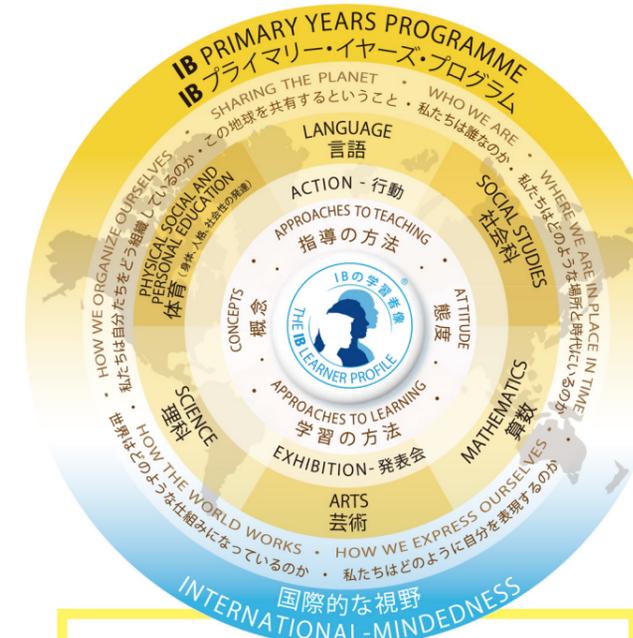
Q5. 初等部からの入学では遅いですか？ 授業についていけない時はどうしたらいいでしょうか？

A. OISでは「幼稚部」からの一貫教育を提供しており、英語のスキルや探究心を養うために、早い時期から英語環境で過ごすことが推奨されます。これにより、初等部ではスムーズに学習に参加することができます。とはいえ、初等部からの入学や転入も珍しくありません。最も重要なのは、児童のやる気と、ご家庭でのサポート体制です。授業についていけない場合は、担任や教科担任と相談し、どこでつまづいているのか、ご家庭でどのようにフォローすればよいか、などを一緒に計画していきます。



PYP model

プライマリー・イヤーズ・プログラムのモデル



Transdisciplinary Curriculum Spanning Six Units of Inquiry

教科の枠を超えた「6つのテーマ」

テーマの探究を通じて算数や社会、理科などの教科スキルを養います。同時に、教室で学ぶことと社会との「つながり」を意識させる指導も大切にします。

- テーマ1 私たちは誰なのか
- テーマ2 私たちはどのような場所と時代にいるのか
- テーマ3 私たちはどのように自分を表現するのか
- テーマ4 世界はどのような仕組みになっているのか
- テーマ5 私たちは自分たちをどう組織しているのか
- テーマ6 この地球を共有すること

Student's Voice

〈Grade5 児童〉

スクールで楽しいクラスは、Japaneseクラスです。なぜかというと、漢字BINGOや、漢字フラッシュで、漢字をたくさんおぼえたりできるからです。MYPに進級するために、Englishの発音のレベルアップにとりくんでいます。OISは、EOTやGuest speakerの数が多くて、楽しみながら探究することができます。将来は外国に行って、通訳のお仕事をしたいです。



Middle School 中等部

- Grade 6 6年生
- Grade 7 7年生
- Grade 8 8年生
- Grade 9 9年生



Providing a multilingual environment, we raise our students to become globally-minded citizens.

多言語かつ包括的な学習環境の中で国際的な視野を持つ人材を育成

中等部では、本来、初等部の段階であるGrade6(6年生)から、「国際バカロレア」のミドル・イヤーズ・プログラム(MYP)が始まります。初等部の探究学習で培ってきた知識や能力をさらに深めて、高等部のディプロマ・プログラム(IBDP)へスムーズに移行していくための重要な期間です。教科学習を通して、世界を舞台に活躍できる英語などの外国語学習を通じ、コミュニケーション能力を身につけていきます。さらに日本の伝統文化や歴史、言語も深く学び、自分自身のアイデンティティを模索しながら、真のグローバルエリートを育てます。

MYP 3つの教育方針

Holistic-learning
包括的学習

「すべての知識は相互に関わり合っている」という認識に基づく学びと、その指導

Intercultural-understanding
多文化理解

「生徒・保護者・教職員が、自国や他国の文化を尊重」する国際的視野

Communication
コミュニケーション

「開かれたコミュニケーション」の重要性を理解し、そのスキルを習得する

Class Schedule 中等部での一日

中等部では、国際バカロレア(IB)の探究型授業を中心に、ミドル・イヤーズ・プログラムの履修科目を学びます。

Grade 6 Class Schedule 6年生クラスの時間割モデル

| Time | Mon | Tue | Wed | Thu | Fri |
|-------------|--------------------------------------|----------------------------------|-----------------------------|----------------------------------|----------------------------------|
| 8:30~8:35 | Homeroom ホームルーム | | | | |
| 8:40~9:30 | 1st Mathematics 数学 | Mathematics 数学 | PHE 保健体育 | Design デザイン | Mathematics 数学 |
| 9:35~10:25 | 2nd Language Acquisition 言語習得 英語・日本語 | Language Acquisition 言語習得 英語・日本語 | PHE 保健体育 | Design デザイン | Language Acquisition 言語習得 英語・日本語 |
| 10:35~11:25 | 3rd Sciences 理科 | Music 音楽 | Mathematics 数学 | Language Acquisition 言語習得 英語・日本語 | Sciences 理科 |
| 11:30~12:20 | 4th Language & Literature 言語と文学 | Language & Literature 言語と文学 | Language & Literature 言語と文学 | Language & Literature 言語と文学 | Music 音楽 |
| 12:20~13:10 | Lunch Break 昼食 | | | | |
| 13:10~14:00 | 5th Individuals & Societies 個人と社会 | Independent Study 独立学習 | Independent Study 独立学習 | Independent Study 独立学習 | Independent Study 独立学習 |
| 14:05~14:55 | 6th Visual Arts 美術 | Karate 空手 | Sciences 理科 | Individuals & Societies 個人と社会 | SERVICE AS ACTION 奉仕活動と行動 |
| 15:00~15:55 | 7th Visual Arts 美術 | Individuals & Societies 個人と社会 | Sciences 理科 | Individuals & Societies 個人と社会 | SERVICE AS ACTION 奉仕活動と行動 |
| 15:55~16:05 | Homeroom ホームルーム | | | | |

■ 英語で行われる授業 ■ 日本語で行われる授業 ■ 英/日で行われる授業(生徒の第一言語によって異なる)

Grade 9 Class Schedule 9年生クラスの時間割モデル

| Time | Mon | Tue | Wed | Thu | Fri |
|-------------|--------------------------------------|-------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|
| 8:30~8:35 | Homeroom ホームルーム | | | | |
| 8:40~9:30 | 1st Visual Arts 美術 | Design デザイン | Sciences 理科 | Individuals & Societies 個人と社会 | Visual Arts 美術 |
| 9:35~10:25 | 2nd Visual Arts 美術 | Design デザイン | Sciences 理科 | Individuals & Societies 個人と社会 | Visual Arts 美術 |
| 10:35~11:25 | 3rd Language Acquisition 言語習得 英語・日本語 | Individuals & Societies 個人と社会 | Independent Study 独立学習 | Mathematics 数学 | Individuals & Societies 個人と社会 |
| 11:30~12:20 | 4th Sciences 理科 | Independent Study 独立学習 | Language Acquisition 言語習得 英語・日本語 | Language Acquisition 言語習得 英語・日本語 | Language Acquisition 言語習得 英語・日本語 |
| 12:20~13:10 | Lunch Break 昼食 | | | | |
| 13:10~14:00 | 5th Language & Literature 言語と文学 | Sciences 理科 | Language & Literature 言語と文学 | PHE 保健体育 | Language & Literature 言語と文学 |
| 14:05~14:55 | 6th Mathematics 数学 | Mathematics 数学 | Karate 空手 | PHE 保健体育 | SERVICE AS ACTION 奉仕活動と行動 |
| 15:00~15:55 | 7th Independent Study 独立学習 | Language & Literature 言語と文学 | Mathematics 数学 | Independent Study 独立学習 | SERVICE AS ACTION 奉仕活動と行動 |
| 15:55~16:05 | Homeroom ホームルーム | | | | |

■ 英語で行われる授業 ■ 日本語で行われる授業 ■ 英/日で行われる授業(生徒の第一言語によって異なる)

Classes centered on the development of imagination, creativity, and organization skills

発想力・創造力・構想力の開発を核とする授業

カリキュラム Pick Up Individuals & Societies 個人と社会

歴史と社会科学の授業を組み合わせた年間6つのユニットで構成。授業は探究型で、若いうちから高次の思考を身につけるといふIBのミッションに沿って、重要な概念を理解していきます。国際教育とともに、OISでは沖縄の文化を学び、その歴史を理解し、体験することに重点を置いています。音楽と歴史を組み合わせた他教科同士によるコラボレーション授業を行うなど、常に「新しいアイデア」を取り入れながら、「生徒主体」「少人数制」の創造的な学習環境を提供しています。

カリキュラム Pick Up English Language Acquisition 英語言語と習得

中等部の英語言語習得クラスでは、IBディプロマ・プログラムも視野に、早い時期から英検準1級の取得を目指します。国際基準の英語能力テスト・TOEFLやIELTSに対応するため、年間平均120時間のカリキュラムを組んで授業を行っています。

カリキュラム Pick Up Sciences 理科

人体のバランス・自然界のバランス・自然界の変化・化合物の名称と式の書き方・化学反応式・運動、というトピックを6つのユニットで学びます。科学の世界では「魔法」のように見えても、生徒がその原理を理解すれば魔法ではなくなる。これを常に生徒の学習活動の中に提供しています。聞くだけでは忘れる。見れば覚える。やれば理解できる。チャレンジングな課題に意欲的に取り組める授業を構成しています。

カリキュラム Pick Up Service as Action 奉仕活動

生徒も教師もすべてが「愛に満ちた世界市民」として成長していくために、OISでは奉仕活動の授業も大切にしています。1つ1つの機会や経験が、生徒の人生に新しい視点や洞察力を与え、尊敬・感謝・責任・理解・協調の心で平和な社会をリードしていける、すばらしい「国際教養人」に育ちゆくことを願っています。

カリキュラム Pick Up Japanese Language & Literature 国語

様々な地域、時代、ジャンルの文学作品や、新聞やポスターなどの非文学作品も含めて、それらのテキストを学習し、分析します。言語、登場人物、作者、時代背景など様々な観点からアプローチし、探究し、筆記の作文だけでなく、プレゼンテーションや映像作りなど多様な方法で表現する機会を設けます。こうした活動の中で、創造性豊かな読み書きの力を育て、コミュニケーション力、発表力を身につけます。

カリキュラム Pick Up Visual Arts 美術

美術を学ぶには多様な文化への知識と理解が重要です。生徒が精神的にも感情的にも活発であることが、この創造的なプロセスに成功をもたらします。時には授業の初めにサルサ音楽を流して高揚感分かち合います。一人ひとりが優れた美的感覚で芸術を鑑賞し、理解し、分析し、創造する力を育むために、包括的な視覚教育をテーマとしています。

カリキュラム Pick Up Design デザイン

MYPのデザインのクラスでは、最終的な作品や解決策よりも全体的なデザイン過程に重点を置いています。探究心と問題解決は、デザインの中心です。デザインカリキュラムモデルを使用して、探究を構成し問題を分析する方法論、実現可能な解決策の開発・作成、そしてそれをテストし評価などを行います。

Student's Voice

〈Grade6 生徒〉
OISに入学してから、特にコミュニケーション力が伸びたと感じています。いつでも自由に話し合える環境があり、聞き逃したことや分からなかったことを友だち同士で教え合えるのが魅力です。OISは他の学校とは違い、グループワークやプレゼンテーションの機会が多くあります。これらの活動を通して、クラスメートとの絆が深まり、協力する力も自然と育まれます。将来は、母のように自分だけの新しいことに挑戦してみたいと思っています。母は独自のビジネスを立ち上げました。OISで学んだプレゼンテーション力は、将来ビジネスに関わる上で大切なスキルになると感じています。そして、OISでは友だちを作るのもとても楽しく、自然に仲良くなれる環境があります。

〈Grade7 生徒〉
OISに通うことで、プレゼンテーションの力がついたと感じています。以前は発表のときに少し緊張していましたが、周りの人たちがとても優しく接してくれたおかげで、少しずつ自信を持てるようになりました。私がOISの好きなところは、IB(国際バカロレア)教育を取り入れていることです。IBでは世界で起きているさまざまな課題について学ぶことができ、将来の大学受験にも役立つ内容だと思います。将来の夢はまだはっきりしていませんが、IB的な考え方は試験や課題など、さまざまな場面でとても役立つと感じています。

〈Grade8 生徒〉
自分が主に成長したことは自分の意見をプレゼンをする力だと考えます。OISではさまざまな授業でプレゼンの課題が出され、自分のコミュニケーションや情報の捉え方が試されます。このようなアクティビティーが私のプレゼン力を上げ、成長できたと思います。OISは、生徒の「考える力」を育てることに力を入れている学校だと思います。他の学校とは違い、自分で考え、計画し、それに基づいて行動するという学び方を大切にしています。このような学習スタイルによって、勉強するトピックに対する理解がより深まります。私の将来の目標はまだ決っていませんが、OISのユニークな勉強へのアプローチ、(例えばIBLPに関わる課題をすること)によって将来何をするかに関わらずOISで学んだ事を活かせると思います。

Develop comprehensive intelligence, high ethical standards, and practical language presentation skills

総合的な知性 高い倫理観 実践的な語学によるプレゼンテーション力を育成

A Versatile Curriculum that Enhances Language Adaptability and Readiness for Various World-Standard English Proficiency Tests

「言語適応能力」を高めるカリキュラムで ハイレベルな資格取得を目標に

中等部ではほとんどの教科を英語で学ぶため、入学時から一定レベルの英語力が求められます。そこからさらに言語の適応能力を高めるカリキュラムを実践し、そこで身についた英語力を測るため、英検を受験する生徒もいます。準1級、1級の取得を目指しながら、TOEFL Jr. やIBTのハイスコアにも挑みます。また漢検などの幅広い資格にもチャレンジします。



■ 中等部での「英語レベル成長目標」

| 成長目標 | Grade6終了 | Grade9終了 | |
|-----------------|----------|----------|---------|
| CEFR 基準 | A 2 | B 1 | B 2 |
| TOEFL Juniorスコア | 600-750 | 745-850 | 850-900 |
| 日本の「英検」 | 準2級 | 2級・準1級 | 準1級・1級 |

Meaningful Testing and Language Placement

言語力に応じたクラス分け

MYPでは外部試験(APTISなど)を活用した英語クラス分けを定期的に行っており、英語力を総合的に評価します(CEFR 言語運用能力測定指標)。評価結果は、カリキュラムにおける言語サポートやクラス分けに使用するだけでなく、生徒一人ひとりの努力や成長の記録にもなります。



Personal Project

自主的な探究活動の 成果を発表 【パーソナル・プロジェクト】

Project Based Learning:PBL(問題解決型学習)は、探究型学習の代表的な手法の一つです。その特徴は、生徒が現実世界の課題を解決するための製品(プロジェクト)を構築することです(例:株のチャートとローソクとは何か・パソコンを使ったアニメソングの作り方・自然の写真技術の向上・世界の貧困・2Dモデルソフトウェアを学ぶなど)。OISでは、世界のコミュニティへの貢献を合言葉に、国連のSDGsにも挑戦する革新的なアプローチで、このPBLを実践しています。生徒自身がプロジェクトのアイデアを考え、教師はファシリテーターとして彼らを支援しながら導いていく、生徒を中心とした学びのスタイルを一貫しています。こうした先進的な学習体験を通じて、生徒たちは生涯にわたって学びへの本質的な興味を持ち続け、創造的思考・批判的思考・問題解決能力など、これからの世の中に求められる大切なスキルを身につけていくのです。



Educational Outbound Trips to Explore History, Nature, and Culture

歴史・自然・文化を探究する「校外学習」



生徒たちは「学校の外」、つまりリアルワールドで、さまざまなテーマを学ぶ活動を体験します。これらの教育的な「校外学習」は、生徒たちを地元の歴史、社会、文化、政治、科学、自然、環境を考える機会に結びつけます。理論を現実に体験することは、とても重要な学習プロセスです。

Karate 空手

中等部では2021年度から週に一度のプログラムとして導入しました。高等部卒業までに黒帯取得を目指して取り組んでいます。



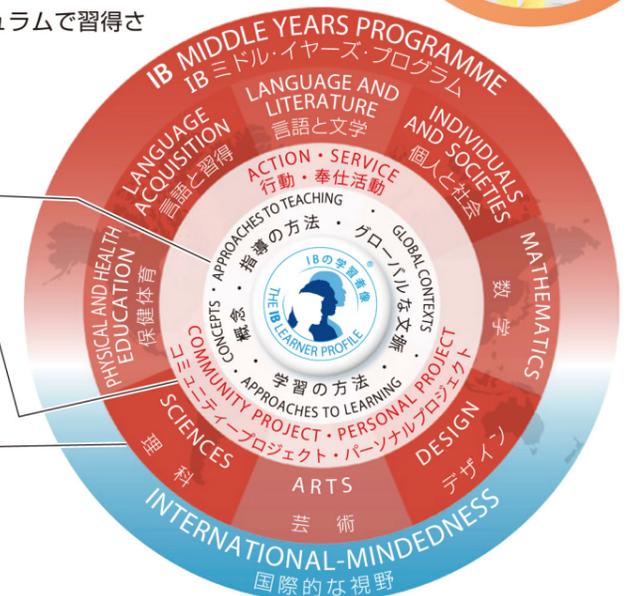
Smooth transition from PYP to DP

PYP学習を生かしたDP学習の出発点

MYPでは、PYPにおける教科の枠を超えた横断的な学習モデルから、集中的な教科学習と学際的学習モデルへ移行します。PYPで培った探究の姿勢を教科学習にも応用させる、とても大事な時期です。教科学習は知識の習得のみに終わらず、「学んだことと社会がどのように結びつくのか」という考えを中心に据え、国際的な視野と能動的な学習者になれる人材の育成をめざしています。また、ディプロマ・プログラムへの出発点ともいえるMYPでは、DPIに進学する生徒に求められる技能や知識、それらに対する学習姿勢を、連続性のあるカリキュラムで習得させる環境を整えています。

MYP model ミドル・イヤーズ・プログラムのモデル

- 4つの基本要素
 - ◆指導の方法 ◆グローバルな文脈
 - ◆学習の方法(ATL) ◆概念
- 自主的行動・奉仕活動
 - ◆行動・奉仕活動
 - ◆パーソナルプロジェクト
- カリキュラム
 - ◆言語と習得(英語・日本語) ◆言語と文学(英語・国語)
 - ◆個人と社会 ◆数学 ◆デザイン ◆芸術(美術・音楽)
 - ◆理科 ◆保健体育



Academic career from OIS Middle School

OIS 中等部からの進路

OISの高等部(和名:沖縄国際学院高等専修学校)には、国際バカロレアコース(IB)と国際リベラルアーツコース(ILA)があります。OIS中等部の生徒は、進路指導・アカデミックカウンセラーのアドバイスのもと、IBコースまたはILAコースへ進学します。

OKINAWA INTERNATIONAL SCHOOL
中等部 Middle School
MYP 国際バカロレア ミドル・イヤーズ・プログラム

沖繩国際学院 高等専修学校
OKINAWA INTERNATIONAL SCHOOL
Grade10 ▶ Grade12
2つのコース
●国際バカロレアコース (中等部からの内部進学生が中心)
●国際リベラルアーツコース (他校からの受験によって入学)

進路相談デスク

インターナショナルスクールの進路は、以前より非常に選択肢が増えました。特に国際バカロレアにおいては、文部科学省も推奨する国際認定プログラムのため、国内の国公立・私立大学も積極的に受け入れています。国内の大学をはじめ、海外進学も視野に入れた多様性のある進学カウンセリングが重要です。本スクールでは中等部から継続的な進路ガイダンスを行い、様々な可能性を示しながら目標意識を高める学びの姿勢に活かしています。



Student's Voice

〈Grade9 生徒〉

OISに入って、英語力とプレゼン力が大きく向上したと感じています。ほとんどの授業が英語で行われ、先生や生徒と常に英語でコミュニケーションを取る環境が整っているからです。特にネイティブの発音やイントネーションに日常的に触れられることは貴重です。OISでは、自分の意見を発表する機会が多く、先生からのフィードバックで自分を高めることができます。少人数制でお互いをよく理解し合える雰囲気があり、学びに対して自然と助け合いが生まれます。将来はパイロットになるのが夢で、OISでの学びは、英語力や国際的視点、探究心、協調性など、夢の実現に必要な力を育ててくれていると感じています。

High School 高等部

International Baccalaureate Course

IBコース 国際バカロレアコース

真の「国際教養人」となるために

IBコースの授業は世界有数の大学への登竜門です。その目的は高い倫理感を持って社会にイノベーションを起こす探究力、想像力、多言語で世界に通じるコミュニケーション力、これらを有する人材の育成です。その厳しい学びを見守り、支える教師陣も、旺盛な探究心でIB教育に情熱を持って取り組むプロフェッショナルです。

生徒がめざす卒業時の英語能力 到達目標

CEFR基準

C1 英検1級相当

C1/C2レベルとは
知識量と実用面、双方の技能を
バランスよく備え持つ「熟達
した言語使用者」

未来を拓く IBコースでの学び



入学初年度は国際バカロレア [MYP5] ミドル・イヤーズ・プログラムの5年目の学習

1年次のGrade10(MYP5)は、DPへの最終準備段階です。4月から12月は、国際バカロレア・中等教育過程(MYP5)の集大成を行い、この10か月間にIBDPでの履修科目を決定します。合わせて進学希望大学のガイダンスも始まります。

2年次・3年次は国際バカロレア [DP1][DP2] ディプロマ・プログラムで真理を探究

MYPで培ってきた多くの知識とスキルは、より深く、より幅広く真理を探究するDPに引き継がれます。DPでは、6つのグループ(教科)と、DP独特の3つのカリキュラムコア(核)をひたむきに探究学習します。DPの修了前には、国際バカロレア統一試験を受けます。統一試験は45点満点で、24点以上でDPの習得認定を受けることができます。40点以上を獲得すると、世界各国のトップレベルの大学への入学が実現します。

MYP5 Curriculum Pick Up

【パーソナル・プロジェクト】 Personal Project

国際バカロレア・ミドル・イヤーズ・プログラム(MYP)の5年生(高等部1年生)による、集大成の探究プロジェクトです。生徒自身の興味のある分野を約半年にわたって探究し、成果物を創作します。このプロジェクトに挑むことで、学ぶ姿勢が確立し、大学へ進学への礎と、生涯学習者となる自己管理、リサーチ、コミュニケーション、批判的・創造的思考、コラボレーション等の能力を身につけます。発表はアイデア・基準・展開・課題・計画・調査・解決策・進捗状況の報告というプロセスジャーナルに沿って英語でおこなわれます。



MYP5 Curriculum Pick Up

【アカデミック英語】 English for Academic Purposes

IBDPでは英検1級レベル(CEFR C1)の英語力を駆使して、アカデミックな論説文を書く力が求められます。さまざまな文書を書くためには、その文書に適した語彙力と、正しい文法力が必要です。生徒は与えられた課題を多くこなすことで、大学や社会での専門分野の英語にも対応できるようになります。

MYP5 Curriculum Pick Up

【数学】 Mathematics

探究を主体に批判的思考や実社会での応用を学びます。多彩なプロジェクト、共同での問題解決、実践的な活動を通して数学的概念を高めます。グラフィック・ディスプレイ電卓などの高度なテクノロジーを活用して分析力を磨き、IBディプロマ・プログラム(DP)数学の厳しい要求に応える準備を整えます。

Student's Voice

石嶺 貴己さん Takaki Ishimine IBコース



OISで最も成長したと思うのは英語力と学び方です。すべての授業が英語で行われるため、自然と英語力が向上し、IBの探究的な学びを通して批判的思考も身につきました。また、少人数制の環境は一人ひとりの意見を大切にやすく、先生との距離が近いので、質問や相談がしやすい点も他校と大きく違います。将来はインターナショナルスクールの先生になるのが夢で、そのために英語力をさらに伸ばし海外の大学を目指しています。OISでの学びは、自分の考えを深め、多文化を理解する力を育ててくれると感じています。

辺 予博さん Yubo Bian IBコース

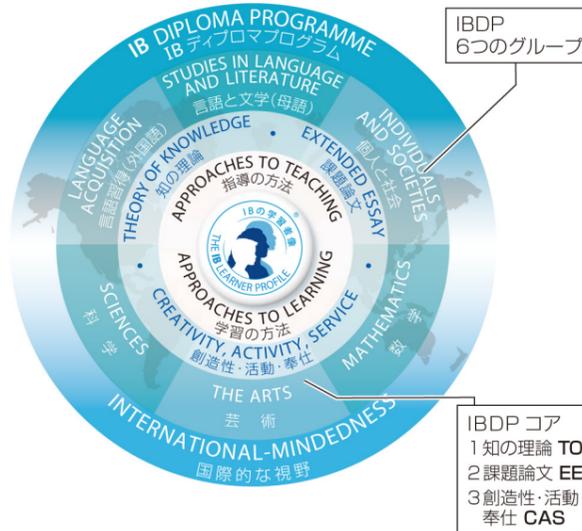


OISで最も成長したのは英語力だと思います。「英語の授業」としてではなく、すべての教科が英語で行われる「環境」が、私の英語力を向上させてくれました。ほとんどの教科でパソコンを使うので、情報を見極める力や、得た知識を整理してドキュメントやプレゼンにまとめてディスカッションしたり、発表する力も身につきます。少人数制だから先生との距離が近くて、いつでも質問できます。進路指導も、私の希望に沿った親身な提案をしてくれます。夢はまだ決まっていますが、自分らしい人生を歩んでいきたいです。



ディプロマ・プログラム

DP model ディプロマ・プログラムのモデル



IBコース Grade11(DP1) 時間割モデル

| Time | Mon | Tue | Wed | Thu | Fri |
|----------------|------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|
| HR 8:30~8:35 | HOMEROOM ホームルーム | | | | |
| 1 8:40~9:30 | TOK 知の理論 | VISUAL ARTS 美術 | PHYSICS 物理 | JAPANESE A 日本語 A | JAPANESE A 日本語 A |
| 2 9:35~10:25 | ENGLISH B 英語 B | VISUAL ARTS 美術 | PHYSICS 物理 | JAPANESE A 日本語 A | MATHEMATICS 数学 |
| 3 10:35~11:25 | INDEPENDENT STUDY 独立学習 | TOK 知の理論 | INDEPENDENT STUDY 独立学習 | PHYSICS 物理 | ENGLISH B 英語 B |
| 4 11:30~12:20 | JAPANESE A 日本語 A | JAPANESE A 日本語 A | HISTORY 歴史 | ENGLISH B 英語 B | HISTORY 歴史 |
| 12:20~13:10 | LUNCH BREAK 昼食 | | | | |
| 5 13:10~14:00 | PHE 保健体育 | ENGLISH B 英語 B | MATHEMATICS 数学 | INDEPENDENT STUDY 独立学習 | VISUAL ARTS 美術 |
| 6 14:05~14:55 | PHE 保健体育 | ENGLISH B 英語 B | VISUAL ARTS 美術 | INDEPENDENT STUDY 独立学習 | CLUB ACTIVITIES クラブ活動 |
| 7 15:05~15:55 | MATHEMATICS 数学 | INDEPENDENT STUDY 独立学習 | VISUAL ARTS 美術 | HISTORY 歴史 | STUDENT COUNCIL 高等部生徒会 |
| HR 15:55~16:05 | HOMEROOM ホームルーム | | | | |

DP Curriculum Pick Up

【知の理論】 TOK

IB教育の特徴である探究学習は、教師が常に生徒へ「なぜ?なに?」と問いかけ、生徒の答えに対してさらに「なぜ?なに?」と問い続けます。この繰り返しの中で探究を深め、知見を広げ、問題解決能力を高めるのがTheory of Knowledge(TOK)「知の理論」です。10年生は、11年生から本格的に始まるTOKの準備学習として、Pre-TOKの授業に取り組みます。



DP Curriculum Pick Up

【社会】 History

地域的、国家的、国際的、そして世界的な次元への理解を深めるとともに、自分自身の生活に関わりを持ちそうな問題まで掘り下げて、深く探究します。権力・主権・国際関係・人権・環境開発・平和と紛争など、実際の事例や未来予想、ケーススタディに基づきながら、国境を越えた視点を持ってクラスメートと対話・討論し、競合する主張や争点を理解する能力を身につけていきます。



DP Curriculum Pick Up

【美術】 Visual Arts

偉大な芸術を偉大たらしめる要素を集中的に調査する、包括的なプログラムです。堅実なポートフォリオだけでなく、個人的な成長を促進し、厳しい学業環境の中で創造的な表現の場を提供します。幅広いメディアを用いて実験を行い、生徒個々のビジョンに合わせてアート制作のスキルを磨き、インスピレーションに満ちた作品群の展覧会で集大成を迎えます。



DP Curriculum Pick Up

【創造性・活動・奉仕】 CAS

IBディプロマ・プログラムにおけるCAS(創造性・活動・奉仕)を通じて、体験的学習と個人的成長を受け入れましょう。創造性、身体的健康、コミュニティサービスを育む多様な活動に参加しましょう。芸術的な追求からスポーツ、ボランティア活動まで、CASは学生にコンフォートゾーンから一歩踏み出し、リーダーシップスキルを開発し、世界に良い影響を与えることを奨励します。

DP Curriculum Pick Up

【言語と文学】 Language & Literature

英語と日本語の二言語で提供され、各自の主要言語で履修します。さまざまな媒体を通して広い範囲の文学・非文学作品を学び、それらがコミュニケーション上で担う役割を研究。言語そのものの特性や、言語がアイデンティティや文化にどのように影響するかなどを深く学びます。また、各テキストの背景にある文化的な意味や価値を理解することで、批評的思考や表現力を発展させます。

DP Curriculum Pick Up

【化学】 Chemistry

物質の性質の探究や化学反応の理解、エネルギー伝達の原理、環境の持続可能性の調査。これらMYP5で学んできた基礎を活かして、DPでは大学入学前のレベルで化学を学ぶための主要概念・理論・方法論・応用などを厳格に包括的に探究します。化学現象を深く理解し、批判的な探究を行い、実験に不可欠なスキルを養います。

High School 高等部

International Liberal Arts Course

ILAコース 国際リベラルアーツコース

「夢」を実現する「英語力」「探究力」の育成

ILAコースには、一人ひとりが個性的な夢を持つ生徒が集まっています。そして多くの生徒が「海外大学への進学」を目標とします。なりたい自分になるために、自らの本質を見つめながら、どんな将来へ進んでいくのか？ そんな未来像を深く考えていくための学びや、それを力強く支える教えが、ILAにはあります。

生徒がめざす卒業時の英語能力 到達目標

CEFR基準

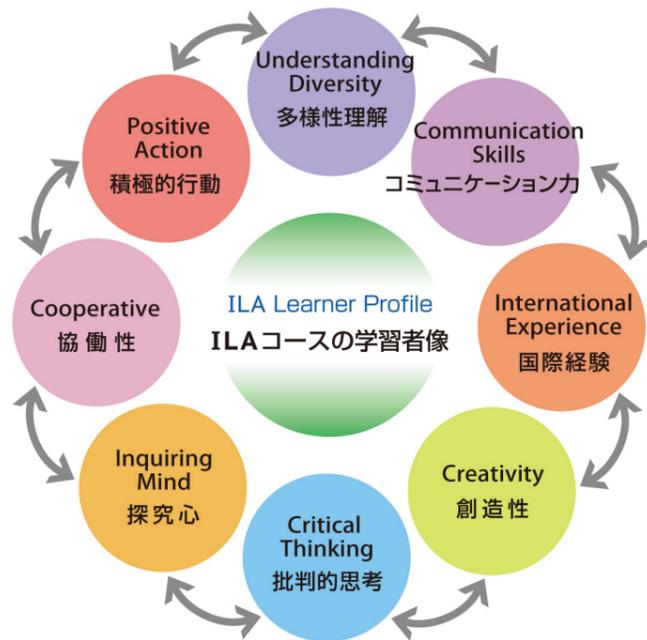
B2 英検準1級相当

B2レベルとは英語を使って、複雑で具体的なことを自然にやり取りできる「自立した言語使用者」

徹底した「英語習得プログラム」と「一人も取り残さない」少人数指導体制

「自分がなりたい自分」になるための大学進学。ILAコースでは、そのために英語4技能の鍛錬を重ね、TOEFLや英検の結果で到達度を確認しながら、着実なレベルアップを図ります。アカデミックイングリッシュとは、英語で多教科を理解し、探究する力を指します。

ILAコースで学ぶ3年間は、海外・国内大学への合格後も、そこで「自分が学びたいもの・やりたいこと」を追求し続ける国際教養(リベラル・アーツ)の確かな礎となります。



文系・理系の枠を超えた「グローバルリスト」へ

私たちが暮らす社会は、身近な地域問題から国際関係、自然環境、政治経済まで、様々な問題を抱えています。これらと向き合い、解決していくため、社会はいま、理系・文系両面からのグローバルな知識と教養を合わせ持つ人材を求めています。

正しい判断と行動ができる「真理の探究者」をめざす奥深い学び

ILAでは「一つの答えや正解」を求めるより先に「多様性の理解」を大切にします。相手の考えを知り、尊重しながら自分の意見を伝え、相互の理解にたどりつける能力を伸ばします。SNSなどで情報が氾濫する社会でも「他者の発言を鵜呑みにしない」正しい判断と行動をとれる人を育てます。そのために「真理(Truth)」を探究し、「国際教養人」への学びを実践します。



教科書や受験勉強が中心ではない 生徒の探究心と努力を評価する教え

教養を深めるために、教科書を横断するカリキュラムや探究学習は不可欠です。探究学習において最も重要なことは、生徒が自ら「疑問」を持ち、それを解決するための努力を続け、探究を重ねて答え(真理)を導き出すプロセスです。テストや受験などでみられる、いわゆる「すでにある答えを求める」学習ではありません。

ILAコース Grade10 (ILA1) 時間割モデル

| Time | Mon | Tue | Wed | Thu | Fri |
|----------------|----------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|
| HR 8:30~8:35 | HOMEROOM ホームルーム | | | | |
| 1 8:40~9:30 | ENGLISH CONVERSATION 英語コミュニケーション | ENGLISH CONVERSATION 英語コミュニケーション | ENGLISH CONVERSATION 英語コミュニケーション | GRAMMAR & COMPOSITION 英語文法・基礎作文 | GRAMMAR & COMPOSITION 英語文法・基礎作文 |
| 2 9:35~10:25 | ICT ICT | RYUKYU ARTS 芸術 (工芸・音楽) | RYUKYU ARTS 芸術 (工芸・音楽) | INDEPENDENT STUDY 独立学習 | INDEPENDENT STUDY 独立学習 |
| 3 10:35~11:25 | INTEGRATED JAPANESE 国語総合 | RYUKYU ARTS 芸術 (工芸・音楽) | INTEGRATED SOCIAL STUDIES 社会総合 | INTEGRATED MATHEMATICS 数学総合 | GLOBAL ISSUES INQUIRY |
| 4 11:30~12:20 | LISTENING COMPREHENSION リスニング | GRAMMAR & COMPOSITION 英語文法・基礎作文 | INTEGRATED JAPANESE 国語総合 | INTEGRATED JAPANESE 国語総合 | INTEGRATED JAPANESE 国語総合 |
| 12:20~13:10 | LUNCH BREAK 昼食 | | | | |
| 5 13:10~14:00 | PHE 保健体育 | ENGLISH LITERACY 英語読解・語彙 | KARATE 空手 | ENGLISH LITERACY 英語読解・語彙 | COMMUNITY SERVICE 地域奉仕活動 |
| 6 14:05~14:55 | PHE 保健体育 | INTEGRATED ENGLISH 英語総合 | INTEGRATED SCIENCES 理科総合 | INDEPENDENT STUDY 独立学習 | CLUB ACTIVITIES クラブ活動 |
| 7 15:05~15:55 | INTEGRATED ENGLISH 英語総合 | INTEGRATED ENGLISH 英語総合 | INTEGRATED ENGLISH 英語総合 | INTEGRATED ENGLISH 英語総合 | STUDENT COUNCIL 高等部生徒会 |
| HR 15:55~16:05 | HOMEROOM ホームルーム | | | | |

英語集中プログラムとして計15時間のクラスと、英語で行うその他の教科で4技能を高め、総合的な英語力を向上させます。Grade11 (ILA2)からは英語でさらに深く探究学習するため、Grade10は英語力の教科において重要な位置付けとなります。

Student's Voice

難波 陸弥さん Rikuya Namba ILAコース

私が成長したと感じることは、英語での会話力です。中学校では英語での会話は外国の先生と少し話す以外、実践的には使ってきませんでした。ですがOISには外国の先生方がたくさんおり、基本的な英語はもちろん、実践的な英語もどんどん身につけることができます。わからないところなどはOISの先生方が親切に教えてくれますし、OISでは少人数制が取られているので、気軽に聞くこともできて、自信が持てるようになります。私は将来、中学校の英語教師になって、実践的な会話や英語の資格に向けた勉強をサポートするなど、今は違う教育をしていきたいと思っています。そのためにも、OISで英語に関してもっと学んでいきたいと思っています。



Student's Voice

川上 みこらさん Mikora Kawakami ILAコース

私が幼い頃から描いてきた夢。それはエミレーツ航空の客室乗務員になることです。中学生の時にカナダへ長期留学し、語学力と多文化理解を深めました。また、ボランティア活動を通じて幅広い世代と交流し、コミュニケーション力を養いました。今は欧州大学進学に向け、リーダーシップと英語力向上に力を入れています。OISでの学びを土台に、世界中の人と心を通わせる客室乗務員になるという夢を必ず実現させます。

石川 夢子さん Yumeko Ishikawa ILAコース

OISで成長したと感じるのは、英語力とプレゼン力です。授業では英語で意見を伝える機会が多く、間違いを恐れず話す姿勢や、相手の意見を聞く力が身につきました。先輩・後輩問わず仲が良く、先生とも距離が近く、楽しく学んでいます。スライド作成など新しいことにも挑戦でき、できることが増えるのが嬉しいです。国際的な環境で学び、他国の文化や考え方に触れながら視野が広がりました。私の夢は世界で活躍するバレエダンサーになることです。そのためには、バレエの技術を磨くのはもちろんですが、語学力も必要不可欠です。海外でレッスンを受けたり、コミュニケーションをとるには、英語で自分の考えや気持ちを伝える力が求められます。OISで英語を学びながら、自分の夢に向かって努力できる環境にとっても感謝しています。これからも夢を実現できるように、バレエも英語も全力で頑張りたいです。

Curriculum Pick Up

【英語総合】 Integrated English

国際教養を身につけるためには、実践的な英語力が必要不可欠です。英語による読解・エッセー・プレゼンテーション力・ディベート力の育成を図り、大学のみならず社会で必要とされる実践コミュニケーション英語の力を身につけていきます。



【国際課題探究】 Global Issue Inquiry

世界に共通する問題や課題を深く理解し、その解決策を模索。国際的な視点から社会的・経済的・環境的問題にアプローチし、グローバルな理解を積み重ねます。複雑な問題への分析力を養うだけでなく、学んだ知識を具体的な活動に結びつけ、持続可能な解決策を実践する能力を身につけます。



【国語総合】 Integrated Japanese

「国語総合」では、教科書を中心に登場人物の心情や筆者の考えを読み解くのではなく、「筆者の人生論」から意見を考慮しつつ「生徒自身の人生プラン」を作成するなど、生徒自身のオリジナルの解答が求められます。そのため読解のみの国語ではなく、時には音楽や芸術も融合させ、生徒は「答えなき問い」に、文学的観点をを用いながら、積極的に探究することで授業を構築していきます。



【地域奉仕活動】 Community Service

ビーチクリーンアップ、古着回収、子ども食堂ボランティア、世界大会の通訳、マラソンしながらPFAS問題を訴える活動など、年間30時間の地域奉仕活動に取り組みます。自分にできることを計画・実行して振り返ります。



国際交流プログラム

短期プログラム

【期間：2週間から1ヶ月間】

OISが大切にしている多様性の理解を深め、体験するために、国内外から個人やグループを受け入れています。OISの通常の授業を在校生と一緒に過ごすことで、お互いの学び合いと相互理解が深まります。

短期海外留学

在学中に海外留学を希望する生徒への支援も積極的に行なっています。留学期間中の出席や単位についても、出発前に単位互換を前提に留学先校と連携します。

国際オンライン交流プログラム

世界中の学校と、オンラインでの交流授業を行っています。さまざまなプログラムにチャレンジしながら、大学への進学や、将来の夢に向かう同級生から共感と勇気をもらえます。

偏差値に惑わされるな。

「君はどう生きるか」

Don't measure your potential by Standard Deviation
How Can I Contribute to Our Future World?



私たちはOISの高等部で学び、「国際社会で活躍していく未来の自分」にチャレンジしました。その「頑張りの証し」として、日本や、世界各国の多くの大学から合格通知をいただきました。

沖縄国際学院 高等専修学校

第一期生～第三期生 合格実績

海外大学 ※参考出典[QS World University Rankings 2026]

- ◆トント大学 (カナダ) ※世界29位
- ◆プリティッシュコロンビア大学 (カナダ) ※世界40位
- ◆マギル大学 (カナダ) ※世界27位
- ◆セントニール・カレッジ (カナダ)
- ◆シドニー大学 (オーストラリア) ※世界25位
- ◆メルボルン大学 (オーストラリア) ※世界19位
- ◆モナッシュ大学 (オーストラリア) ※世界36位
- ◆オーストラリア国立大学 (オーストラリア) ※世界31位
- ◆西オーストラリア大学 (オーストラリア)
- ◆シドニー工科大学 (オーストラリア)
- ◆ロイヤルメルボルン工科大学 (オーストラリア)
- ◆香港科技大学 (香港) ※世界44位
- ◆香港教育大学 (香港)
- ◆パーミンガム大学 (イギリス) ※世界76位

- ◆エセック・ビジネススクール (シンガポール)
- ◆オークランド工科大学 (ニュージーランド)
- ◆リンカーン大学 (ニュージーランド)
- ◆カンタベリー大学 (ニュージーランド)
- ◆ニュージーランド・スクール・オブ・フード&ワイン (ニュージーランド)
- ◆カリフォルニア州立大学 ノースリッジ校 (アメリカ)
- ◆ハワイ パシフィック大学 (アメリカ)
- ◆カピオラニ コミュニティ・カレッジ (アメリカ)
- ◆エルスワース・コミュニティ・カレッジ (アメリカ)
- ◆カリフォルニア州立大学 ロサンゼルス校 (アメリカ)

国内大学

- ◆早稲田大学 国際教養学部
- ◆早稲田大学 社会科学部
- ◆上智大学 国際教養学部
- ◆上智大学 経済学部
- ◆国際基督教大学(ICU) 教養学部
- ◆法政大学 経済学部
- ◆立命館大学 グローバル教養学部
- ◆立命館アジア太平洋大学 国際経営学部
- ◆武蔵野大学 薬学部
- ◆横浜薬科大学 薬学部
- ◆中央大学 経済学部
- ◆玉川大学 リベラルアーツ学部
- ◆専門学校 大育

「一人ひとりの進学」を万全にサポート



OISの進路・進学指導は Academic Guidance と呼ばれます。担当者はアカデミックカウンセラーとしての立場で、「偏差値」だけの進路指導は行いません。OISのアカデミックカウンセラーは、大学進学計画の非常に重要な役割を担っています。カウンセラーが生徒のことをよく知っているほど、最適な大学の提案や、キャリアに関するアドバイ

スにおいて、より戦略的な指導を果たすことができます。カウンセラーは常に豊富な経験と最新の情報を持ち、生徒が認識するものより、はるかに多くの大学やキャリアパスに精通して、彼らに可能性にあふれた未開拓の選択肢を提供します。本校の生徒たちは、大学への出願を始める前にカウンセラーの専門知識を活用して、学校の規模・地域・希望に添った学習コースなどをじっくりと話し合います。生徒とのこうした緊密で親身な伴走体制によって、一人ひとりの「成功感」と「さらなる向上心」を満たす数多くの進学実績を実現しています。



「世界への扉」が開かれるIB試験へのチャレンジ

The International Baccalaureate® (IB) assesses student work as direct evidence of achievement against the stated goals of the Diploma Programme (DP) courses.

OISでは、高校2年・3年次の2年間で国際バカロレア、ディプロマ・プログラム (DP) のカリキュラムを履修し、国際的に認められる大学入学資格 (国際バカロレア資格) の取得にチャレンジします。

国際バカロレア資格の取得には、DPカリキュラムをすべて履修し、外部評価 (国際バカロレア試験等) および内部評価を通じて、45点満点中、原則として24点以上を取得する必要があります。配点は、6科目につき各教科7点 (計42点)。さらに、必修要件コア、知の理論と課題論文の評価結果の組み合わせに応じて最大3点が与えられます。

IBDP認定試験は世界中のIB認定校で世界同時に実施されます。5月試験と11月試験があり、4月入学を選択しているOISは11月試験となります。試験はおおよそ10月20日～11月10日の期間で実施されます。結果は12月に国際バカロレアより発表されます。生徒はその結果を進学希望大学へ願書として提出し、合否判定を受けることになります。

卒業生の声

眞喜志 伯さん
(2023年3月 卒業)
●ハワイ
パシフィック大学



私今通っている大学では、プレゼンやディスカッションをすることが多いので、OISでプレゼンなどが学べて良かったと思っています。プレゼンの作り方や発表の仕方が今とても役に立っています。Community serviceの授業で行ったプレゼンテーションはとても印象に残っています。あのような大きいプレゼンをする事は初めてだったので、とても印象的でした。他の学校ではプレゼンやディスカッションにそれほど力を入れていない気がします。それに比べてOISはともに入力して、今の大学生活に役立っています。私は大学で経営学部を専攻しており、経営に関する知識を深めながら、将来実際、自分の会社を運営するために必要なスキルを身につけようとしています。また、空いた時間を活用して不動産業界の動向について調べたり、宅建資格の勉強もしています。今後はインターンシップなどを通じて実務経験も積み、卒業後はすぐに現場で活躍できる人材になることを目指しています。将来的には地域に貢献できるような信頼される不動産会社をつくりたいと考えています。

知念 仁衣奈さん
(2024年3月 卒業)
●国際基督教大学
(ICU)



OISでの経験は、今の私の進路に大きく活かされています。特に、英語を学ぶのはもちろん、日本語の基礎能力も学ぶことは、国際基督教大学(ICU)での学びにおいて大きな強みとなっています。OISでは、日本語文学で読む力と書く力を鍛えられ、その経験がJLPの授業で活かされました。さらに、ライティングスキルは、両言語で単位を一定履修する必要があるICUで、受講できるクラスの幅を広げてくれています。また、OISの学校文化は、多様性を受け入れる心を育ててくれました。多国籍の友人と共に過ごす中で、異なる文化や背景を持つ人々を理解し、受け入れる姿勢が身につきました。この精神的な学びは、ICUのようなグローバルな環境で生活する上で、非常に重要なことと感じています。ICUは、選択したメジャー以外にも幅広い分野の授業を自由に履修できるのが魅力です。この1年間で、ビジネスに加え、社会学や教育、心理学など様々な分野の授業を履修しました。この経験を通して、社会の流行や価値観が人々にどのような影響を与えるのか、という点に深く興味を持つようになりました。今後は色々なメジャーの授業を取り、多角的に学んでいきたいです。また、3ヶ国語目の習得にも挑戦して、将来的には学校がオファーしている短期留学にも挑戦したいと思っています。OISで培った語学力と多様性を受け入れる心を土台に、ICUで頑張ります。

竹田 ひかるさん
(2025年3月 卒業)
●オーストラリア
国立大学
●西オーストラリア大学
●プリティッシュ
コロンビア大学



OISで学んでよかったと思うことは、critical thinking skillです。OISでの経験を通して、常に様々な視点を持ちながら、物事を深く考える力は、今後の大学生活やキャリアでも役立っていくと思います。最も印象に残っている学校行事は、小学5年生の時に参加した修学旅行です。約一週間ベトナムに滞在しました。中学生の先輩方と一緒にいったので、すごく楽しかったです。帰国予定日に台風が来たため、延泊することになってみんなと喜んだことを覚えています。他の大学へ通っている友人の話や聞くと、やはりOISで当たり前のようにやってきたことは、他の学校から来た人たちにとって、当たり前ではないのだと気づきました。大人とのコミュニケーション、計画力、リサーチ能力など、OISでの経験を通して培ってきたスキルの貴重さを感じています。大学を卒業してから先の明確な夢はまだありませんが、様々な学科を提供している学部で、私の興味とスキルを活かせる分野を見つけることが目標です。言語に興味があり、中国語やスペイン語などの世界でよく使われている言語を習得したいです。これらを学ぶことで、コミュニケーションの幅が広がり、更に多くの人と繋がることができると考えています。

Going to university IBディプロマの認定資格を入試に有利に活かせる国内・海外の大学

Japanese Universities

国内の大学へ

国公立大学 東京大・京大・筑波大・東京外国語大・東京芸術大・お茶の水女子大・金沢大・名古屋大・東北大・大阪大・岡山大学・国際教養大・横浜市立大・大阪市立大 ほか20校
全34校

私立大学 早稲田大・慶應義塾大・工学院大・国際基督教大・順天堂大・上智大・玉川大・東洋大・法政大・立教大・関西学院大・立命館大・近畿大・京都外大・青山学院大 ほか29校
全44校

Overseas Universities

海外の大学へ

世界に2500校以上 ハーバード大・ボストン大・ペンシルバニア州立大・コロンビア大・カリフォルニア大ロサンゼルス校(UCLA)・スタンフォード大・カリフォルニア大バークレー校・オックスフォード大・ケンブリッジ大・キングスカレッジロンドン・エジンバラ大・シドニー大・メルボルン大・トロント大・クイーンズランド大・プリティッシュコロンビア大 ほか世界に多数

受験可能な 医・歯・薬・獣医学部

医学部 東京医科歯科大・北海道大・筑波大・岡山大学・名古屋大・愛知医科大・広島大・鹿児島大
歯学部 東京医科歯科大・北海道大・鹿児島大・岡山大学・広島大
薬学部 北海道大・岡山大学・広島大
獣医学部 北海道大・鹿児島大

Fully-Equipped Facilities 充実した施設



Library 図書室

探究学習に役立つさまざまな書籍や資料があります。Wi-FiでPCやタブレットから素早く情報収集できる、オンライン資料も充実しています。



Chemistry Lab. 化学室

化学実験中の安全を守る国際基準に合わせた設備・機材を導入。講義のためのモニターやボードも設置して、高度な理論と実践の場を提供します。



Music Room 音楽

音楽は世界共通の感性を創造します。初等部、中等部のIBカリキュラムに即応する実習設備を整えています。



Art Room 美術室

奔放な創造意欲にこたえる芸術活動のアトリエ空間です。視覚的な感覚を、感情や文化、社会的な側面から学びます。



Multipurpose Hall 多目的ホール

入学式・卒業式などの式典、児童・生徒による発表会や空手・体育などの授業に活用される多機能空間です。



Design Room デザイン教室

OISのデザイン授業は、多教科を横断的に学びながらICTで技術的かつ論理的に取り組んでいきます。



南城市 体育館

南城市 陸上競技場

南城市 テニスコート

校舎

初等部 中等部 高等部
南城キャンパス



A Wonderful Environment to Exercise Your Mind and Body

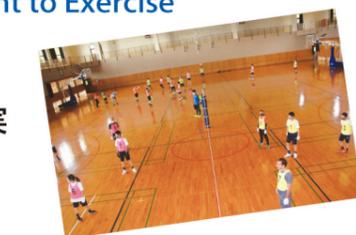
心も身体も元気に！
アクティビティ環境も充実



南城市体育館



Track & Field



School Bus スクールバス

送迎ルートは県内広域をカバー。生徒(児童)の安全で安心な登下校をサポートします。

各エリアからの運行ルート

- 沖縄市・中部ルート
- 宜野湾・浦添ルート
- 那覇北・首里ルート
- 那覇南・小禄ルート
- 豊見城・糸満ルート



Welcome!
Future
Students!

やる気に満ちた生徒を
歓迎します

School Uniform スクール制服

初等部・中等部は、タータンチェックのスカート、パンツに沖縄の伝統工芸「紅型」のアクセント柄を取り入れた活動的なデザインです。高等部は、専用のロゴが刺繍されたシャツにエンジのネクタイを合わせる清楚なデザインで、高校生としての自覚を芽生えさせます。

Elementary 初等部

Middle School 中等部

High School 高等部



【卒業資格】【転入学】【進学・受験資格】について

Q1 OISでは小学校、中学校の卒業証書が取得できますか？

OISの初等部、中等部に在籍している日本国籍の児童生徒は、住民票のある公立学校に籍を置いています。OISでの出席や成績は定期的に在籍校へ報告されており、それに基づいて正式に卒業証書が授与されます。

Q2 学年途中で転校する際に 知っておくべきことは？

ほとんどの保護者が英語力を心配されています。もちろん英語力は入学に必要な条件の一つですが、それよりも重要なのは保護者とお子様と一緒にOISで学んでいく意欲と、これまでの学校で培ってきた成績です。

Q3 「大学入学 共通テスト」への 対策はなされますか？

OISでは「総合型選抜試験」で海外・国内大学への進路指導をしています。生徒が希望する大学と大学が求める学生像を分析し、偏差値に惑わされずに希望する大学レベル以上への合格実績を出しています。

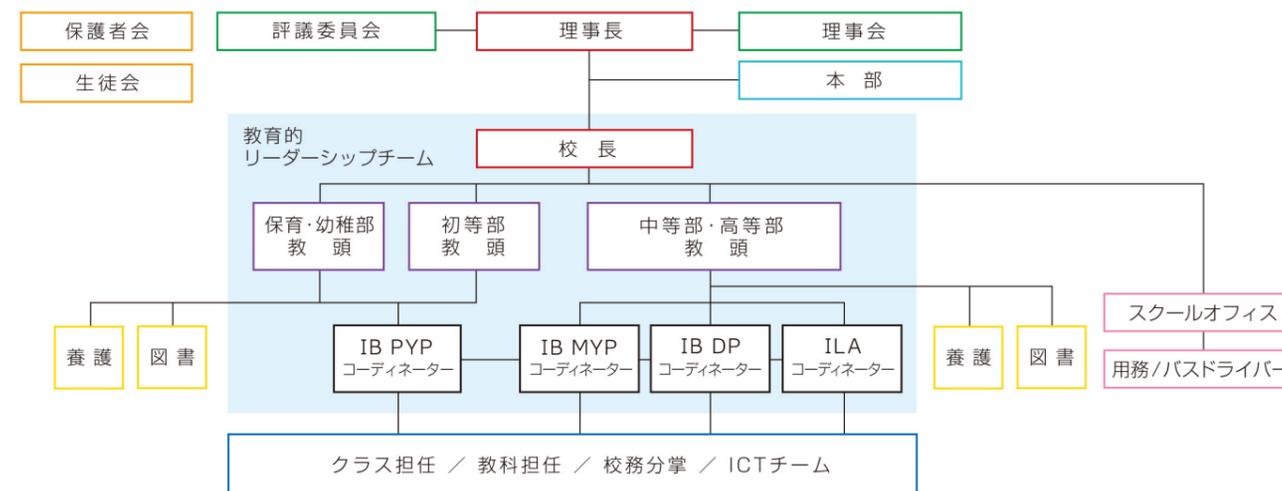
Q4 「高校授業料 無償化」の 対象校ですか？

OIS高等部は他校と同様に、無償化の対象校です。「高等学校等就学支援金」が支給されます。

Q5 日本の高等学校卒業資格を 取得できますか？

本校は「学校法人」として認可された高等専修学校です。文部科学省の大学入学資格付与校の認定を受けており、国内外の大学受験資格が得られます。

Organization Chart 組織体制



OKINAWA INTERNATIONAL SCHOOL Becoming the Hub of Education!!

オキナワインターナショナルスクールを 教育のHUBに!!

沖縄は歴史的にみても台湾・中国大陸・朝鮮半島
東南アジア・日本を結ぶアジアのアジマー(十字路)です。
教育を通して、世界の児童・生徒がコミュニケーションを図り、
お互いを理解し合う拠点となるように——。
OISは教育のアジマー(十字路)を目指しています。

アジマーから湧き上がる多様性

「多様性だからアイデンティティが育つ」
「多様性だから異なる価値に気づく」
「多様性だから互いを知る大切さがわかる」

多様性は
「ゼロ」から「1」を
生み出す発想力の源



OIS Group



OKINAWA INTERNATIONAL SCHOOL
オキナワインターナショナルスクール®



学校法人 PST アカデミー
沖縄国際学院 高等専修学校

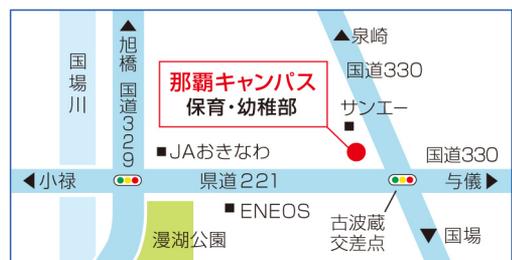
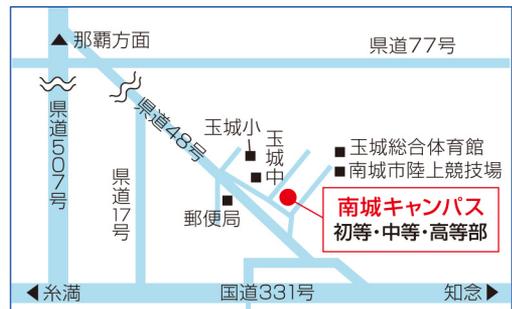
【南城キャンパス】
〒901-0611 沖縄県南城市玉城字富里143番地

☎ **098(948)7711**

【那覇キャンパス】
〒900-0025 沖縄県那覇市壺川2-13-26 4F

☎ **098(835)1851**

✉ admission-center@ois-edu.com



OKINAWA INTERNATIONAL SCHOOL
沖縄初・唯一の国際バカロレア(IB)一貫教育

保育・幼稚部
那覇キャンパス

初等部
南城キャンパス

中等部
南城キャンパス

高等部
南城キャンパス

学校法人 PST アカデミー
沖縄国際学院 高等専修学校
大学入学資格付与 指定校

公式ウェブサイト



資料のご請求



2025年7月制作